

香川県 「こども図書館船 ほんのもり号」 ～瀬戸内の島で、子どもたちの心広がる読書体験を！～

船の上の読書体験
「本」を手には好奇心の海へ
思いがけない一冊との出会い
一冊をきっかけに広がる世界



うみ
えの
の
かん



香川県 「こども図書館船 ほんのもり号」 ～瀬戸内の島で、子どもたちの心広がる読書体験を！～

自治体の紹介



○香川県は、瀬戸大橋でつながる四国の玄関口
瀬戸内海は、国立公園指定90周年の節目

○130もの大小さまざまな島々が織りなす
穏やかな景観は、「世界の宝石」とも称される。

背景

○島を舞台にした現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」により、**自然や歴史的価値**だけでなく、**アートの島**としても魅力を高めている。

○世界的建築家の安藤忠雄氏からの提案
瀬戸内の各地や島々を結び、自然・暮らし・文化・芸術の中で、**子どもたちの豊かな感性や創造性を育む船**の寄贈
「こども図書館船 ほんのもり号」運航



希望の船に乗って
地球を馬鹿げ巡る。
そのための知識と創造力を
身につけてほしい。
子どもたちが
「こども図書館 ほんのもり号」で
たくさんの本を読んで、
自分だけの大切な一冊と出会い、
「生きる力」を養い、瀬戸内から
世界という大海に向けて、
元気よく羽ばたいてくれることを
期待しています。
安藤忠雄

Tadao Ando

～瀬戸内の島で、子どもたちの心広がる読書体験を！～

事業
目的

○子どもたちが、瀬戸内でしか得られない豊かな感性や創造性を育む。

○瀬戸内への愛着心を育み、交流人口を拡大させる。



☞ 「豊かな人生の始まりが瀬戸内にある。」と思われる瀬戸内を目指す。

○島で本を楽しむための環境整備

寄港時の港周辺にパークレットを設置し、島内外の交流の場をつくる
(しまライブラリーの実施)

事業
内容

○瀬戸内×本という特別な体験企画

船だからこそできる形で、特別な本の体験

(島から島への乗船、船上クルーズ読書など)

○図書館船が来る特別な日に、島の魅力を五感で感じながらの本の体験

(ブックピクニック、ワークショップなど)



香川県 「こども図書館船 ほんのもり号」 ～瀬戸内の島で、子どもたちの心広がる読書体験を！～

得られる
成果

○子どもたちの**本との絆**

瀬戸内で過ごした記憶の中に本との思い出ができる。
本への関心から地域の本屋、図書館利用者が増える。



○本でつながる**親子の絆、島との絆**

親子の時間に、本や瀬戸内の会話が增える。
島へ訪問したいと思うリピーターが増える。



ご寄附い
ただく企
業様への
メリット

○県HP等や「ほんのもり号」船内への企業名のご掲載

○企画発表会（12/18）その他の本事業シンポジウムへのご招待



連絡先

香川県政策部地域活力推進課

TEL：087-832-3476 メール：chiiki@pref.kagawa.lg.jp